



第67回

近畿北陸地区 歯科医学大会

知の世紀 PART II
—科学の進歩と歯科医療新時代—

2015年12月6日(日)
和歌山県民文化会館 大ホール

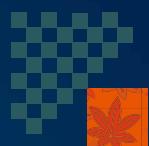
一般社団法人 和歌山県歯科医師会

第67回
近畿北陸地区歯科医学大会

知の世紀 PART II
—科学の進歩と歯科医療新時代—



2015年12月6日(日)
和歌山県民文化会館 大ホール

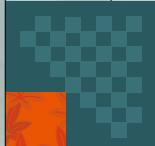


目 次

第67回近畿北陸地区歯科医学大会

◆ ご案内	3
◆ ご挨拶	4
◆ 大会日程	5
◆ 大会役員	6
◆ お知らせ	8
◆ 交通案内	9
◆ 次回開催地紹介	10
◆ 県民公開講座	
～山本一力(直木賞作家)	12
◆ 特別講演 I	
～江草 宏(東北大学大学院歯学研究科 分子・再生歯科補綴学分野 教授)	14
◆ 特別講演 II	
～植田耕一郎(日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授)	16

表紙写真／(有)フォトワークス 横本宣和



ご案内

四季の移ろいは日本人の感情を豊かなものにします。2015年の冬、街ではクリスマスソングが流れる頃、12月6日(日)午前9時45分より和歌山県民文化会館・大ホールにて「知の世紀PARTⅡ－科学の進歩と歯科医療新時代－」をテーマに第67回近畿北陸地区歯科医学大会を開催いたします。

歯科医師としてのスキルアップと会員相互の親睦を深めるためには絶好の機会ですので、奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。

また、当日は「デンタルショー2015 和歌山」が併せて開催されます。会員の先生方並びにデンタルスタッフの皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

大阪府歯科医師会 福井県歯科医師会 兵庫県歯科医師会
奈良県歯科医師会 京都府歯科医師会 石川県歯科医師会
滋賀県歯科医師会 富山県歯科医師会 和歌山県歯科医師会



ご挨拶



第67回近畿北陸地区歯科医学大会 大会長

一般社団法人 和歌山県歯科医師会

会長 中谷 譲二

歴史と伝統を誇る近畿北陸地区歯科医学大会を、和歌山の地で12年ぶりに開催できること、大変嬉しく思います。今年で67回目の開催と成りますが、これまで継続して開催して来られたのも、偏えに近畿北陸地区歯科医師会の先生方による不断のご尽力とご理解の賜物と、

受け止めている次第でございます。先人 先達の偉大なる業績に、改めて敬意と感謝の意を捧げます。

さて、近年 特に自然科学の分野では著しい発展があり、日本から人工多能性幹細胞(iPS細胞)の研究や青色発光ダイオードの開発で、多数のノーベル賞受賞者を輩出したことは、皆様方の記憶に新しいところであります。

前回の和歌山大会では「知の世紀」をメインテーマに掲げ、21世紀は「知の世紀」すなわち知識や情報が、社会を動かす原動力となる知識社会化が一層進行すると言われています。今大会テーマも前回同様に「知の世紀」を用いて「知の世紀PART II ー科学の進歩と歯科医療新時代ー」とさせて頂き、今一度皆様方と共に21世紀の日本社会のゆくえと歯科界の展望を考えてみたいと思います。

午前の県民公開講座は、人気時代小説家で2002年に『あかね空』で第126回直木賞を受賞された山本一力氏のご講演です。知識社会では国民一人一人が、基礎・基本を身に付けることが何よりも重要であり、「読むこと、書くこと、生きること」をテーマにお話頂きます。

午後の特別講演Ⅰでは、東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野教授の江草 宏先生に「再生歯科医療の現状と展望」と題してご講演頂きます。先生には再生医療全般のお話と、今話題のiPS細胞を使った歯科臨床応用の夢のあるお話を拝聴できるものと思います。

また 特別講演Ⅱでは、日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授の植田耕一郎先生より「健康長寿を目指す“かかりつけ歯科医”の考え方と手法～診療所を核にした高齢者歯科治療とリハビリテーション～」というお題で、今後の超高齢化社会での歯科診療所の方向性をお示し下さいます。

本年、和歌山県では靈場「高野山」開創1200年祭や、第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」が44年ぶりに開催され、例年にも増して活気あふれる年になっています。そして、歯科医学大会の会場となっている和歌山県民文化会館は、和歌山市の中心に位置し、近隣には和歌山城や県立近代美術館など、徒歩で行ける距離にあります。また 万葉歌人 山部赤人の有名な歌碑のある景勝地「和歌浦」も近くにあり、お時間のある方は是非とも散策して頂きたく存じます。

結びに本大会を開催するにあたり、ご支援 ご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げ、粗辞乍らご挨拶とさせて頂きます。

大会日程

第67回近畿北陸地区歯科医学大会 大会日程

9:00	● 開場・受付開始	
9:45	● 開会のことば	大会副会長 市川 晃
9:50	● 県民公開講座 「読むこと、書くこと、生きること」	直木賞作家 山本 一力
11:20	● 大会セレモニー	◆司会 大会委員長 中西 孝紀 ◆挨拶 大会会長 中谷 譲二 ◆祝辞 和歌山県知事 仁坂 吉伸 和歌山市長 尾花 正啓 日本歯科医師会会长 高木 幹正 日本歯科医学会会长 住友 雅人
		◆次回開催地紹介・挨拶 大阪府歯科医師会会长 太田 謙司
12:00	● 昼食・休憩	
13:20	● 特別講演Ⅰ 「再生歯科医療の現状と展望」	東北大学大学院歯学研究科 分子・再生歯科補綴学分野 教授 江草 宏
14:40	● 休憩	
14:50	● 特別講演Ⅱ 「健康長寿を目指す“かかりつけ歯科医”の考え方と手法 ～診療所を核にした高齢者歯科治療とリハビリテーション～」	日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎
16:10	● 閉会のことば	大会副会長 江見 啓志

大会役員

大会会長

中谷 讓二

大会副会長

市川 晃 江見 啓志

顧問

高木 幹正 住友 雅人

参与

太田 謙司 齊藤 愛夫 澤田 隆 森口 浩充 安岡 良介
蓮池 芳浩 芦田 欣一 山崎 安仁

委員長

中西 孝紀

副委員長

嶋田 崇

総務

深田 拓司 山本有一郎 広瀬 武久 松中 保 岡本 肇
佐藤 修 坂本 直幸 山本 尚靖

涉外

辻本 芳孝 守内 眞澄 川野 敏樹 市原 聰 加藤 信次
岡本 学 砂田 知足 梅田 英樹 吉本 清彦 岸 且好
渡部 武 塩見 聰 中尾 薫 重岡 潔 橋本 芳紀
末瀬 裕一 東浦 宏守 菊山 康彦 堀内 志厚 佐々木 貞
佐々木悦男 三井 博晶 吉岡 孝 杉立 守由 牛村 章
飯利 邦洋 新本 俊彰 天日喜代治 高井 勇學 山本 哲典
佐藤 誠 中村 彰彦 堀井 長幸 山田 隆一 野田 修
城川 和夫 安田 篤 中道 勇

受付

青島 潔 高木 健次 木村 稔 津田 高司 木田 真敏
北垣 英俊 山本 道也 小谷 泰子 新家 信行 斎藤 浩一
森田 健司 梅村 智 吉位 尚 平山 隆浩 吉田 精司
佐藤 雅之 山下 正純 岸本 知弘 中井 義博 江尻 重文
大西 啓之 中瀬 一輝 清田 築 水越 弘

接待

高 誠 山中 茂史 中井 聖 林 正純 堤 佳代子
寺澤 一男 田中 肇 三宅 洋 中川 泰彰 郷田 祥二
閔 良太 藤井 康伯 吉川 健司 米沢 武 藤岡 一途
大乘 衛 前多 裕 松原 寛 小上 敬嗣 山田 隆寛
浦野 一郎

大会役員

講 演

間所 邦人	小嶋 一史	河村 達也	若野 正人	森本 一良
高橋 仁志	高端 泰伸	山本 伸介	高田 利之	松尾 亮
中村 匡	宮田 英利	森田 潤	前田美智之	

進 行

坂本 守孝	石垣 博之	辻坂 智矢	山上 博史	小池 宏忠
大東 美穂	大野屋雅寛	宮本 孝司	堀畠 勝巳	段 充
杉山 友一	加藤 嘉純	岡本 吉彦	丸橋 幸信	正木 文浩
北村 泰子	鈴木 邦亮	竹中 望	堀 宏之	谷 仁史
片口 宗久	折山 弘			

会 場

土田 雅久	本野 久	片岡 宏之	岩月勇一郎	後藤修一郎
柚木 求見	高橋 均	池田 隆彦	遠矢 東昭	前田多津子
佐藤 淑郎	花岡 靖浩	池田 卓也	長田 高晃	内藤 正知
伊藤美智代	小川 喜生	辻 耕造	山本 典子	千田 恭恵
安井 秀樹	高田 克重	堀 博	織田 幸裕	太田 英史
城野 利盛	黒川 拓治	上田 均		

記 録

山田 貢司	井内 洋	木田 友信	中村 孝久	岸本 忠雄
神田 貢	辻井 育	名倉 新	天野 浩	石原 宗和
柴田 卓	柴田 稔	橋本 高生	高島 周二	山森 喜子

会 計

仲河 義仁	牧野 利彦	吉岡 慎郎	近藤 貢	前川 彰男
三代 知史	福水 秀樹	増田 信一	青山 昭典	武田 淳
村戸 建一	桜井 孝徳	諸頭 智彦	山田 雅敏	

実行委員

井関 慶	溝端 将泰	今福 光世	落合 茂弘	東 輝男
吉田 勉	西出 元	和中 由里		

お知らせ

■日 時 平成27年12月6日(日) 午前9時45分～午後4時10分

■受付 午前9時より各府県別に受付を開始いたします。

■大会会場 和歌山県民文化会館 大ホール

〒640-8269 和歌山市小松原通り1丁目1番地(和歌山県庁正門前)

※大会会場への交通手段は

9ページに記載の交通案内をご参照ください。

■駐車場 県民文化会館ならびに周辺駐車場をご利用ください。

駐車台数に限りがございますので、

できましたら公共交通機関をご利用ください。

■昼食 会場内で飲食物の販売はいたしておりません。

会場周辺の飲食店をご利用ください。

■デンタルショー 12月6日(日) 午前9時より1階 展示室にて

「デンタルショー2015和歌山」を併催しております。

詳細は巻末をご参照ください。

■その他 ご不明な点は、会場受付にてお尋ねください。

なお、このプログラムは、当日お渡ししませんので必ずご持参ください。

日歯生涯研修
ICカード

ICカードをお忘れなくご持参ください。
ICカードリーダーは大会ロビーに設置しております。

交通案内

アクセス



会場案内



和歌山市までのアクヤス

- 南海電鉄 南海線「和歌山市駅」下車
 - JR阪和線(きのくに線)「和歌山駅」下車
 - 関西国際空港より
 - ・南海電鉄…「泉佐野駅」乗換、
南海線「和歌山市駅」下車
 - ・JR…「日根野駅」乗換、阪和線「和歌山駅」下車
 - ・空港リムジンバス…「JR和歌山駅」東口着/下車

和歌山県民文化会館へのアクセス

- 南海電鉄「和歌山市駅」より
 - ・タクシー 約5分
 - ・バス 約10分 「県庁前」バス停下車
(バス停より約300m・徒歩約4分)
 - JR「和歌山駅」より
 - ・タクシー 約10分
 - ・バス 約10分 「県庁前」バス停下車
(バス停より約300m・徒歩約4分)
 - 阪和自動車道「和歌山IC」より
 - ・車で約15分(約5km)

次回開催地紹介

第68回 近畿北陸地区歯科医学大会

期日 平成28年10月9日(日)

場所 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3番51号



県民公開講座・特別講演抄録



◆◆◆ 県民公開講座

直木賞作家 山本 一力

◆◆◆ 特別講演

東北大学大学院歯学研究科 分子・再生歯科補綴学分野 教授 江草 宏

日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎

テーマ

読むこと、 書くこと、 生きること

直木賞作家

山本 一力

新聞配達から始まり、幾度もの転職を重ねて今小説を書いています。知的好奇心や学ぶ気持ちがあれば、どんなことからでも知力を得ることができます。私の中では読むこと、書くことは、生きることにつながっていると思っています。



○作品のご紹介



「損料屋喜八郎始末控え」

上司の不始末の責めを負い、同心の職を辞した喜八郎。庶民に鍋釜や小銭を貸す損料屋に身をやつし、巨利を貪る札差たちと渡り合う。



「蒼 龍」

途方もない借金を背負う若夫婦が、貧しい中で追いかける大きな夢。どうか、今年こそ——。著者の原点を描いた表題作他、四篇。



「あかね空」

希望を胸に江戸へ下った豆腐職人の永吉。妻のおふみと、彼らを継いだ三人の子らの有為転変を親子二代に渡って描いた人情時代小説。



「桑港特急」

19世紀後半、小笠原出身の兄弟・丈二と子温が、桑港(サンフランシスコ)へと大望を抱き船出…大海原を越えた男たちの冒險活劇。



やま もと いちりき
山本一力

Profile

【略歴】

昭和23(1948)年、高知県に生まれる。

昭和41年、都立世田谷工業高等学校電子科を卒業。

会社員を経て平成9年、「蒼龍」で第77回オール讀物新人賞を受賞。

平成12年に初の単行本「損料屋喜八郎始末控え」を上梓。

平成14年には「あかね空」で第126回直木賞を受賞。

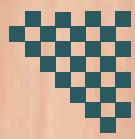
その他の著書に「だいこん」「峠越え」「辰巳八景」「ジョン・マン(波濤編・大洋編・望郷編・青雲編)」などがある。

最新刊は「桑港特急」(文藝春秋刊)

東京都江東区在住。

【主な著書】

「損料屋喜八郎始末控え」	文藝春秋	2000年
「大川わたり」	祥伝社	2001年
「あかね空」	文藝春秋	2001年 第126回直木賞
「蒼龍」	文藝春秋	2002年 第77回オール讀物新人賞
「櫻しぐれ」	朝日新聞社	2004年
「だいこん」	光文社	2005年
「峠越え」	PHP研究所	2005年
「辰巳八景」	新潮社	2005年
「背負い富士」	文藝春秋	2006年
「銀しゃり」	小学館	2007年
「ジョン・マン 波濤編・大洋編・望郷編・青雲編」	講談社	2010・2011・2012・2013年
「べんけい飛脚」	新潮社	2014年
「桑港特急」	文藝春秋	2015年



再生歯科医療の現状と展望



東北大学大学院歯学研究科
分子・再生歯科補綴学分野 教授

江草 宏

再生医療とは、体の組織の一部にできた自然治癒が見込めない欠損を、適切な「生体材料」、「生体活性因子」あるいは「細胞」を用いることで、自然治癒力を引き出して回復に導く治療の総称です。従って、既存の歯科材料だけでは自然治癒力を十分に引き出すことができない症例では、細胞治療(移植)によって患部の治癒力を高め、失った組織を再生する技術に期待が寄せられています。

近年、私たちの体の細胞にわずか数個の遺伝子を導入することでその記憶を初期化し、どんな細胞にもなるという人工多能性幹細胞(iPS細胞)を作り出す技術が発見されました。この技術によって、それぞれの患者の細胞から万能細胞を作ることが可能になるため、その医療への応用が期待されています。山中伸弥教授のノーベル賞受賞もあり、メディアでも何かと話題となるこのiPS細胞。私たち歯科医療従事者にとって身近なものとなり得るのでしょうか？

私たちの研究グループは、歯肉を用いることで、容易に質の高いiPS細胞が作製できることを見つけました。また、特定の薬剤がiPS細胞の欠点である造腫瘍性を抑制することを発見し、この薬剤を用いてiPS細胞の腫瘍化を回避しながら骨再生を促すことを動物モデルで可能にしています。

採取が容易な歯肉から作製されたiPS細胞は、将来的にはさまざまな組織の再生医療への応用が期待されるだけでなく、患者の体質の違いを考慮した新たな歯科医療技術の開発に有用なツールとなる可能性も秘めています。

本講演では、歯科領域における再生医療の変遷と最先端の技術を概説し、これまでの私たちの研究内容を中心に、iPS細胞に期待されている近未来の歯科医療技術について、夢のあるお話をしたいと思います。

えくさ ひろし
江草 宏

Profile

【略歴】

1972年、広島生まれ。

98年に広島大学歯学部卒業後、99年に香港大学歯学部口腔生物学講座研究助手となる。

02年に広島大学大学院歯学研究科で歯学博士を取得後、日本学術振興会特別研究員としてUCLAワントロープ研究所に勤務。

04年に大阪大学大学院歯学研究科歯科補綴学第一教室助手、07年に同助教。

14年から東北大学大学院歯学研究科 分子・再生歯科補綴学分野 教授。日本補綴歯科学会専門医・指導医。

【受賞歴】

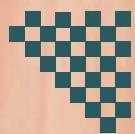
2002年 国際歯科研究学会(IADR)エドワード・ハットン賞第一位

2004年 IADRアーサー・フレッチエ最優秀若手歯科補綴学研究者賞

2011年 大阪大学功績賞

2012年 IADR最優秀若手科学者賞

2013年 大阪大学総長奨励賞など。



健康長寿を目指す “かかりつけ歯科医”の考え方と手法



～診療所を核にした高齢者歯科治療と
リハビリテーション～

日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授

植田 耕一郎

超高齢社会の日本では、健康長寿の実現に向けてさまざまな模索が続けられています。平成18年に介護保険の改訂と地域支援事業が導入されたときに、具体的な施策として、運動器の機能向上、栄養改善、そして口腔機能の向上支援という3つの柱がたちました。高齢者介護予防施策に「口腔」という文言が入ったことは画期的なことでした。口腔における摂食機能を維持している限り、寝たきりや介護の重度化を予防でき、健康長寿がはかれることが公に認められたのです。

人生90年の時代にあって、摂食機能を維持していくことはなかなか難しいことです。歯科は健康な人の健康を維持・増進する“健康医学・予防医学”としての側面と、ひとたび病気にかかったり事故に合ったりした場合の“治療の医学”としての側面があります。さらに障害の医学(リハビリテーション医学)の理念を導入することで、超高齢社会の歯科医療を体系立てることができます。

急性期を脱して回復期から維持期(生活期)に至る過程で摂食嚥下障害の主な対象は、脳血管障害、認知症、パーキンソン病へと移っていきます。長期慢性疾患となれば機能改善というよりも、日々変わらない快適な時を積み重ねていくことが目標になることもあるでしょう。「生活」という視点をもって診療にあたると、自ずと多職種が協働する構図が出来上がります。そこで、今回は以下について検討いたします。

1. 摂食嚥下リハビリテーションの考え方と手法
2. 地域で健康発信する歯科診療所の役割
3. 訪問診療の始まりと多職種間での歯科の立ち位置
4. 21世紀超高齢社会における健康感

私は、病院勤務ですが、診療所、施設、あるいは在宅等の現場で御活躍中の方々と実践的な話し合いの場となれば幸いです。

うえ だ こういちろう
植田 耕一郎

Profile

【略歴】

昭和58年3月 日本大学歯学部卒業
昭和62年3月 日本大学大学院歯学研究科修了(歯学博士取得)
昭和62年4月 日本大学歯学部助手
平成 2年6月 東京都リハビリテーション病院 医員
平成11年4月 新潟大学歯学部加齢歯科学講座 助教授
平成16年4月 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授
平成26年9月 日本大学歯学部付属歯科病院 副病院長

平成17年度 厚生労働省介護予防検討委員会 口腔機能の向上支援マニュアル研究班主任研究者
平成18・19・20年度 厚生労働省「介護予防継続的評価分析等検討委員会」委員
平成19年度 「介護予防給付の栄養改善・口腔機能の向上支援の実施に関する研究」主任研究者
平成20・21・22年度 「摂食・嚥下機能改善のための補助具に関する研究」主任
平成18・21・24年度 「口腔機能向上支援マニュアル(改訂版)」研究班長
現在に至る

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 副理事長、認定士

老年歯科医学会 認定医、指導医、常任理事

日本口腔リハビリテーション学会 理事

愛知学院大学歯学部非常勤講師

神奈川歯科大学非常勤講師

奥羽大学客員教授

【関連著書】

- 植田耕一郎：「脳卒中患者の口腔ケア」医歯薬出版 2008第4刷
- 植田耕一郎：患者説明用・教育用ビデオ「要介護高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア」デンタルダイヤモンド社 2001年
- 植田耕一郎編 他2名：「口と歯の病気マップ」医歯薬出版 2003年

【一般書】 植田耕一郎：「長生きは唾液で決まる」講談社α新書 2014年7月22日

MEMO





DENTAL SHOW

第67回 近畿北陸地区歯科医学大会
デンタルショー2015 和歌山

知の世紀PARTⅡ－科学の進歩と歯科医療新時代－

H.27 12/6(日)

開催時間 AM 9:00～PM 5:00

開催場所 和歌山県民文化会館 1階 展示室
〒640-8269 和歌山市小松原通り一丁目1番地
TEL: 073-436-1331

主催：近畿歯科用品商協同組合 和歌山県支部

企業一覧

- 1 (株)アイデンス
 2 (株)アクロス
 3 朝日レントゲン工業(株)
 4 ウエルテック(株)
 5 デンタルシステムズ(株)
 6 日本アイ・エス・ケイ(株) (旧 キング工業)
 7 (株)ジーー
 8 シロナデンタルシステムズ(株)
 9 タカラベルモント(株)
 10 (株)東京技研
 11 (株)ノーザ
 12 (株)ミック
 13 (株)モリタ
 14 (株)ヨシダ
 15 (株)アイキャスト
 16 アサヒプリテック(株)
 17 石福金属興業(株)
 18 エアロサービス(株)
 19 大浦貴金属工業(株)
 20 亀水化学工業(株)
 21 クラレノリタケデンタル(株)
 22 サンスター(株)
 23 サンデンタル(株)
 24 サンメディカル(株)
 25 (株)松風
- 26 昭和薬品化工(株)
 27 大栄歯科産業(株)
 28 太平化学産業(株)
 29 デンケン・ハイデンタル(株)
 30 デンツプライ三金(株)
 31 (株)デントロニクス
 32 東京歯科産業(株)
 33 トクヤマデンタル
 34 内外歯材(株)
 35 (株)ナカニシ
 36 (株)ニッシン
 37 (株)日本歯科商社
 38 日本歯科薬品(株)
 39 ネオ製薬工業(株)
 40 白水貿易(株)
 41 (株)ビーブランド・メディコーデンタル
 42 ヘレウスクルーツアージャパン(株)
 43 マニー(株)
 44 (株)モモセ歯科商会
 45 山八歯材工業(株)
 46 山本貴金属地金(株)
 47 吉野石膏販売(株)
 48 ライオン歯科材(株)
 49 プルデンシャル生命保険(株)
 50 ダイナースクラブ

(順不同)



会場までのご案内

鉄道をご利用の場合

- ◆南海和歌山市駅……バス：(10番のりば) 10分 タクシー：5分
 - ◆JR和歌山駅………バス：(1、2番のりば) 10分 タクシー：10分
- ※バス停はいずれも県庁前下車（なお、会館には有料駐車場が完備しております）

お車ご利用の場合

- ◆阪和自動車道和歌山I.C.より約15分



県民文化会館の駐車場が満車の場合 周辺有料駐車場ご案内





一般社団法人 和歌山県歯科医師会

<http://www.wda8020.org>

